

令和元年度 福岡県立地企業振興会 北九州部会 実施報告

○日時 令和元年11月6日(水) 12時50分～18時45分

- 内容
1. 日本製鉄株式会社八幡製鉄所 戸畑地区工場見学
 2. ユニ・チャームプロダクツ株式会社 九州工場見学
 3. 交流会

○概要

【日本製鉄株式会社八幡製鉄所 戸畑地区工場 見学】(13:05～14:05)

北九州市戸畑区大字中原に立地する、日本製鉄株式会社八幡製鉄所 戸畑地区工場を訪問、見学しました。八幡製鉄所は、明治34年官営製鉄所として操業開始以来、一貫して日本鉄鋼業界のリーダーとしての役割を果たしてこられ、自動車工場向け高級鋼板や自動車・産業機械向け高級特殊鋼の鋼棒・線材の供給基地として、また近年は近接するアジア市場への輸出基地としての役割を果たされています。

今回の工場見学は、バスの中からの高炉工場(原料を溶かし、銑鉄を造る)見学と徒歩による熱延工場(真っ赤な鋼の塊(鋼片)を薄く延ばす工場)の見学でした。

福岡ヤフオクドーム100個分の戸畑地区工場内をバスで移動しながら、DVDによる製鉄所概況の説明をしていただき、また高炉工場ではバスの車窓から高炉を見学し、熱延工場では徒歩で真っ赤な鋼の塊が薄く延ばされている製造工程を間近で体感させていただきました。



日本製鉄(株)八幡製鉄所 戸畑地区熱延工場前

【ユニ・チャームプロダクツ株式会社 九州工場 見学】(14:45～16:10)

苅田町新松山地区に位置するユニ・チャームプロダクツ株式会社 九州工場を訪問、見学しました。

施設見学の前の説明では、国内に26年ぶりに建設された九州工場について、10年後20年後を見据えてどういった工場にするかを検討され、①スマートファクトリー、②スマートマシン、③魅せる工場、④ユニバーサルデザイン、⑤環境へのやさしさ という5つのコンセプトを決定されたことをお聞きしました。また、九州工場は今年5月に稼働を開始し、生産から出荷までを産業用ロボットによる自動化や人工知能のデータ解析による異常検知など先端の設備を導入されているとのことでした。

見学通路は、建設過程の写真の展示や、おむつの歴史の映像などが放映できる設備が設置され、また、見学しやすいように傾斜廊下の構造となっていました。

2階は資材投入ラインで1階は製造ラインとなっており、これまでに培われたモノづくりの知恵と新たな技術を融合させ、既存の自社工場にはない様々な自動設備の搭載や、IoTを活用した最先端の工場です。

見学後の質疑において、無人搬送台車システム、職員の規模・体制・採用状況、品質保証などの活発な質問がありました。

世界No.1の感動と安心と信頼の「モノ創り」工場を目指すという施設を今回見学させていただき、大変意義のある視察となりました。



ユニ・チャームプロダクツ(株)での概要説明



ユニ・チャームプロダクツ(株)玄関前

【交流会：ステーションホテル小倉】（17：15～18：45）

工場・施設の見学後、当日ご参加された会員の皆様による交流会を開催しました。

交流会は、北九州部会の代表世話人を務めていただいている日産自動車九州株式会社代表取締役社長の荒井様のご挨拶、乾杯のご発声で開会しました。皆さん、終始和やかに、相互の紹介や懇談が進みました。

また、荒井様から今回の部会のタイトルとして『固くて重い製品を造っている日本製鉄様、柔らかくて軽い製品を造っているユニ・チャームプロダクツ様の見学』と命名していただきました。

管内市町の企業誘致担当職員や福岡県商工部企業立地課の井手課長補佐なども交えて、活発な情報交換が行なわれました。



代表世話人荒井様の開会挨拶



ステーションホテル小倉「飛翔の間」